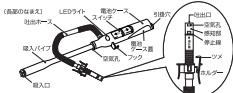


灯油ポンプ TP-FR20

取扱説明書 要保存

このたびは、灯油ポンプTP-FR20をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。



必ずお守りください

1. 乾電池について

- 必ず新しいアルカリ乾電池をご使用ください。
- 使用推奨期限を確認いただき、使用推奨期限が十分あるものをご使用ください。
- マンガン乾電池はご使用にならないでください。
- 二次電池（充電式電池）はご使用にならないでください。
- 乾電池は気温の低い場所ではパワーが低下し、使用できなくなる場合があります。
- 0℃以下の状態で乾電池を入れたまま保管すると、乾電池の性能を十分に発揮できず動かない場合があります。乾電池は5～40℃の室温で保管してください。
- 乾電池の性能が低下してしまった場合、5℃～40℃の室内で2時間以上放置し、乾電池を温めてください。乾電池内部の温度が温まることで、再度使用できる場合があります。（完全に充電した乾電池は使用できません。）

2. 給油について

- 給油は火の気のない場所で行い、給油中は絶対にポンプの側を離れないでください。
- 室内など汚れるは困る場所では使用しないでください。屋外など灯油がこぼれても良い場所でご使用ください。※動作音により再始動したりホースが外れるなど、灯油がこぼれタタミや床面、カーペット、車内などを汚す恐れがあります。
- 給油終了後は、必ずスイッチを「切」にし、灯油缶よりポンプを取り出して灯油をよくなり、ポンプ収納ケースまたは、吊り下げなどして保管をしてください。
- 給油終了後は、絶対にポンプを灯油缶に差し込んだままにしないでください。誤作動により再始動する恐れがあります。

準備1 乾電池の入れ方



- 乾電池の破損、その他の故障を防ぐため次のことをお守りください。
- 1. 乾電池は必ず新しいものを使用してください。
- 2. 乾電池を取り替える時は、一度に2本とも取り替えてください。
- 3. 乾電池は2本とも同じ銘柄のものを使用してください。
- 4. 長期保管（2週間以上）使用しない場合は、必ず乾電池を取り外してください。

準備2 操作方法について

- (図4)のように自動停止（オートストップ）位置を調整することができます。
 - ・給油タンク内の液面が停止線まで満ちると給油を自動停止し、吐出ケース内に残った灯油がタンク内に溜まり込みますのでタンクの形状によっては、溢れる恐れがあるため、その分を考慮しホルダー 上部をつまみながら上下に動かして感知部を調整してください。
- 吸入パイプを灯油缶に差し込んでください。
- 感知部をカートリッジタンクなどの給油口に差し込んでください。
- ホルダー 上部をつまみホルダーを給油口ホースにはさんで真っ直ぐになるよう固定してください。
- ホルダーが固定できないタンクはご使用にならないでください。
- スイッチを「入」方向にスライドさせると給油を開始します。
- 途中の給油を停止する場合は、スイッチを「切」方向にスライドさせてください。
- 自動停止後は、必ずスイッチを「切」方向にスライドさせ、ポンプが停止していることを確認してください。※本品は自動停止後、スイッチを「切」にするまでLEDライトが点滅する仕様です。
- 給油終了後は、必ず灯油缶よりポンプを取り出し保管してください。
 - ご使用になる前に以下のことを必ず確認してください。
 - 吐出ケースに給油が漏れがないか確認してください。
 - 使用用途や保管状況によっては、吐出ケースの破損や変形が発生する場合がありますので、異常がある場合は使用しないでください。
 - スイッチが「切」位置にあることを確認してください。
 - 空気孔側では絶対に給油しないでください。
 - 感知部を給油口にセットする前にスイッチを「入」にするとポンプが作動し灯油が溢れます。
 - カートリッジタンク内が(図5)のような形状のものはご使用になりません。
 - (図6)のようなワイヤネットや燃料タンクが本体と一体になったもの及び(図7)のようなタンク内部に突起やフィルターのあつたものは使用しないでください。※ホルダーがストローの口ネジに固定できず吐出ケースが外れ溢れたり自動停止センサーが正常に作動せず、すぐに停止したり自動停止しない場合があります。
 - 空運転をしないでください。故障の原因となります。
 - 直射日光の当たる場所や強い電磁場などで使用すると自動停止しない場合があります。

使用上のお願い

- 給油は、必ず火の気のない安全した場所で行ってください。
- 給油中は、ポンプの側を絶対に離れないでください。※灯油が溢れ、火災や事故の原因となります。
- 吐出ホース・吸入パイプを強く曲げたり、他のものと強く擦り合わせないでください。
- 亀裂や穴があき灯油漏れの原因となります。灯油が漏れた場合は使用しないでください。
- ポンプを落とさせたり、強い衝撃を与えないでください。破損や故障の原因となります。
- このポンプは、雨水構造ではありませんので雨や水しずきがつかないようにしてください。故障の原因となります。
- フィルター付きカートリッジタンクなどの機種によっては、ご使用におれないものがあります。
- カートリッジタンクなどの給油側口内径22mm以下のもの、灯油缶などの吸入側口内径33mm以下のものにはご使用になりません。
- 通常の使用にもかかわらず動かなくなったり異常がある場合は、事故防止のため使用を中止し、乾電池を取り外していただき、下記までご連絡ください。
- 本体の空気孔が塞がっていないでください。サイフォン効果により自動停止せず溢れる原因となります。※まれに空気孔から少量の灯油がでることがありますが、故障ではありません。
- センサーを汚したり腐つけたり異物が付着した場合、自動停止せず溢れる原因となります。
 - 自動停止せず溢れる場合、スイッチを「切」にし、灯油缶よりポンプを抜きとってください。
 - このポンプは灯油専用です。ガソリン・シンナー・アルコールなどの揮発性の高い液体、酸・アルカリなどの腐食性の高い液体、水は絶対に使用しないでください。火災や故障の原因となります。
 - ポンプの分解や改造は絶対にしないでください。故障や異常動作を起こす原因となります。
 - お子様だけがでの給油は絶対にさせないでください。
 - 古い灯油は使用しないでください。

保管のしかた

- 毎日使用される場合でも、必ず灯油缶よりポンプを取り出し灯油をよくなり、雨や水にぬれる恐れのあるところ、直射日光の当たる場所を避けて保管してください。
 - ※直射日光が当たる場所で保管されますと、吐出ホースが劣化し、割れたり穴があく原因となります。
- ポンプは、上下逆さま（電池ケース部分を下向き）にしないでください。ポンプ内に残った灯油が漏れる恐れがあります。
- ポンプの取扱は弊社販売のポンプ収納ケースをお勧めします。

【長期間使用しないとき】

- 長期間（2週間以上）で使用にならないときは、必ず乾電池を取り外しポンプに残った灯油をよくなり乾いた布でぬぐい、ビニール袋などに入れ直射日光を避け子供の手の届かないところで保管してください。

故障かな？と思ったとき

こんなときは	調べるところ	直しかた
スイッチを入れても作動しない	電池の入れ間違い	電池を正しい入れる
スイッチを「入」にするとポンプが作動せずLEDライトが点滅する！	・マンガン乾電池を使用している ・乾電池が消耗している ・乾電池の使用推奨期限 ・電池端子が汚れている	・使用推奨期限が十分経っている新しいアルカリ乾電池に取り替える ・端子のサゲを落とす
・吸い上げの力が弱い ・ポンプ（モーター）が作動しているのに吸い上げがない！	・給油タンクが高い位置にある ・その他一度スイッチを「切」にし、停止后再度スイッチを「入」にしてください。	灯油缶の側に置く

仕様	型 式	TP-FR20	購入後の取組説明書やはこちらで検索されていない場合はスイッチを入れても作動しない時は、図5のように吸入口内の白いイチョウを掃除してください。再度スイッチを入れた作動しない場合は、図5のように吸入口内の白いイチョウを掃除してください。
	使用乾電池	単一形アルカリ乾電池2本	
	主 材 質	ABS樹脂/ポリプロピレン/ポリエチレン	
	寸 法	全長190mm/全幅88mm/全高130mm(高さ調整は別注による)	
	ポンプ駆動方式	ダイヤレフト・ドライブ方式	
	電子制御素子	トランジスタ	
	セン サ ー	非接触フォトカプラー	
使 用 温 度	-5℃～+45℃		
使 用 液 体	灯油(15L用灯油)		

お客様がこの「取扱説明書」に記載されている内容をお守りにならず受けと保管及び取組、その他の不具合について、当社は一切の責任を負いませんので予めご了承ください。